

全経簿記 2 級(商業) 試験対策レジュメ

～第 1 問(仕訳問題)対策～



弥生カレッジ CMC

もくじ

Chapter01	株式会社	3
	I 株式発行について	3
	II 株式を発行した時の仕訳	4
	III 株式発行費用について	5
Chapter02	法人税等	6
	I 法人税等について	6
	II 中間申告時の仕訳	6
	III 法人税等が確定した時の仕訳	7
	IV 法人税等を納付した時の仕訳	7
Chapter03	手形の不渡りと更改	8
	I 手形の不渡りとは	8
	II 手形の更改とは	9
Chapter04	修繕引当金	10
	I 修繕引当金とは	10
	II 決算時の仕訳	10
	III 修繕時の仕訳	10
Chapter05	剰余金の配当と処分	11
	I 損益勘定からの振り替え	11
	II 剰余金の配当と処分	12
	III 配当の支払い	12
Chapter06	建設仮勘定	13
	I 建設仮勘定とは	13
	II 工事が完成し、建物の引き渡しを受けた時	13
Chapter07	クレジット売掛金	14
	I クレジット売掛金とは	14
	II ー①商品を売り上げた時の仕訳	14
	II ー②売上代金が入金された時の仕訳	15

Chapter08	外貨預金	16
I	外貨預金とは	16
II	外貨預金の処理について	16
Chapter09	電子記録債権・債務	17
I	電子記録債務とは	17
II	電子記録債権とは	18
Chapter10	本支店会計	19
I	本支店会計とは(支店独立会計制度)	19
II	支店の損益振り替え処理	21
Chapter11	その他の論点	22
I	仕入・売上割戻	22
II	商品保証引当金	23

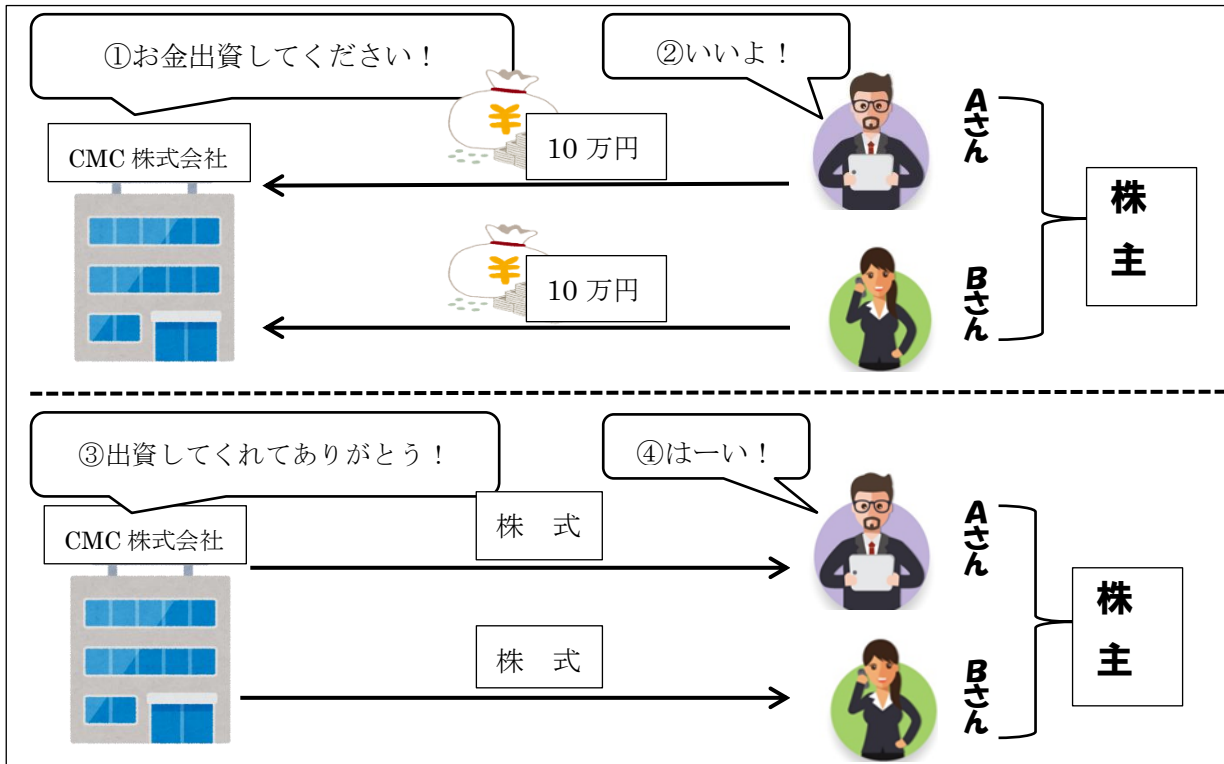


各論点を学習するごとに、一度動画を停止して、すぐに過去問をチャレンジしてくださいね！
そして、分からないことがあれば弥生カレッジ CMC のフリーテキスト講座やニコ生・掲示板を活用してくださいね！

Chapter01 株式会社

I 株式発行について

日商簿記3級では「個人商店」対象の取引の学習でした。全経簿記2級では「株式会社」対象の取引について学習します。株式会社は、株式を発行して多額の資金を調達します。



10万円を出資して CMC 株式会社から株式をもらった、Aさん、Bさんのことを「株主」と呼んでいます。

「株主」は、なぜ今回10万円を出資したのでしょうか？

なにか良いことがないと10万円も出資しませんよね？

「株主」になると、CMC 株式会社に儲けが出た時に、その儲けの一部をもらうことができます。（配当金と呼んでいます。）

会社の儲けが多いほど、配当金も多くなります。

（配当金に関しては、chapter5の剰余金の配当と処分で詳しくお話しします。）

それでは、上記のイラストのように、株主からお金を出資してもらった時の CMC 株式会社の仕訳を考えてみましょう！



II 株式を発行した時の仕訳

①原則処理

【例題 1】

CMC 株式会社は、会社の設立にあたり、株式 900 株を 1 株当たり 8,000 円で発行し、全株式の払い込みを受け、払込金額は当座預金とした。

当 座 預 金	7,200,000	資 本 金	7,200,000
---------	-----------	-------	-----------

★ポイント

【例題 1】は「原則処理」といいます。とくに問題文に指示がなければ、原則処理の仕訳を行います。つまり**資本金 [純資産]**一括で処理します。

②容認処理

例えば、問題文に「2 分の 1 は資本金としないことにした」や「半分は…」など書かれていた場合は、容認処理の仕訳を行います。(なお容認処理とは、会社法の中で『払込価額のうち 2 分の 1 以下の金額については**資本金 [純資産]**として処理せず、**資本準備金 [純資産]**として処理をする。』という決まりです。)仕訳は以下の通りです。

【例題 2】

CMC 株式会社は、会社の設立にあたり株式 900 株を 1 株当たり 8,000 円で発行し、全株式の払い込みを受け、払込金額は当座預金とした。なお、払込金額のうち 1 株当たり 4,000 円は資本金としないことにした。

当 座 預 金	7,200,000	資 本 金	3,600,000
		資 本 準 備 金	3,600,000

※4,000 円×900 株=3,600,000 円

Ⅲ 株式発行費用について

① 会社設立時の場合(創立費)

会社設立時に発生した株式発行費用は**創立費**〔原則：費用〕と呼んでいます。具体的には定款（会社の活動内容[ルール]を定めたもの）作成費用や設立登記のための登録免許税などです。

【例題 3】

CMC 株式会社は、会社の設立にあたり、株式 900 株を 1 株あたり 8,000 円で発行し、全株式の払い込みを受け、払込金額は当座預金にした。なお株式発行費用 220,000 円は現金で支払った。

当 座 預 金	7,200,000	資 本 金	7,200,000
創 立 費	220,000	現 金	220,000

★ポイント

ここでのポイントは 2 つです。

まず 1 つ目のポイントは、会社の設立と書かれているので、**創立費**〔原則：費用〕を計上します。

2 つ目のポイントは、今回 7,200,000 円を**資本金**〔純資産〕一括で計上しているところです。今回は払込金額について何も指示がありません。何も指示がない場合は、原則処理で解答してください。

② 増資時の場合(株式交付費)

増資時に発生した株式発行費用は**株式交付費**〔原則：費用〕で処理します。

【例題 4】

CMC 株式会社は、企業規模拡大のため、株式 500 株を 1 株あたり 8,000 円で発行し、全株式の払い込みを受け、払込金額は当座預金にした。このとき 1 株の払込価額のうち、半分は資本金としないこととした。なお株式発行費用 150,000 円は現金で支払った。

当 座 預 金	4,000,000	資 本 金	2,000,000
株式交付費	150,000	資本準備金	2,000,000
		現 金	150,000

★ポイント

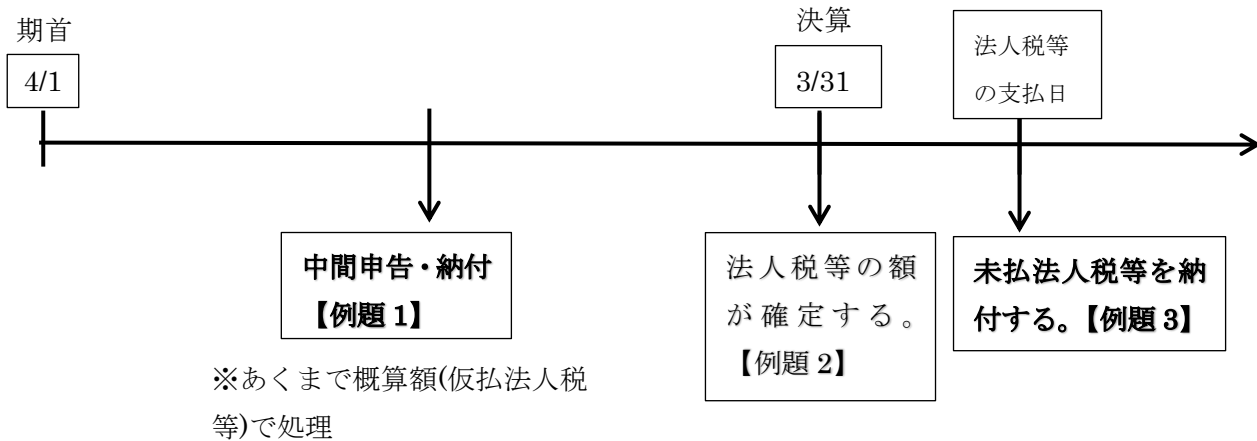
「企業規模拡大のため」という文章に注目してください。

もともと存在している企業の規模を拡大させる・・・ということは、会社は既に存在しているということになります。そのため**創立費**〔原則：費用〕は使えないため、ここでは**株式交付費**〔原則：費用〕という勘定科目を使います。

Chapter02 法人税等

I 法人税等について

株式会社などの法人は、個人と同様に、いろいろな税金を納めています。法人が納める税金のうち、当期の利益などに対して課される税金に、法人税、住民税、事業税があります。
なお仕訳をするときは、法人税、住民税、事業税をまとめて**法人税等 [費用]** とします。



II 中間申告時の仕訳

決算日に当期の利益が確定したあと法人税等の金額も確定します。(実際は2ヶ月以内に確定させます。)通常、会社は会計期間の途中で法人税等の半年分の概算額を申告し、納付します。これを「中間申告」と言います。

【例題 1】

CMC 株式会社 (決算日、3月31日) は法人税の中間申告を行い、税額 170,000 円を現金で納付した。

仮払法人税等	170,000	現	金	170,000
--------	---------	---	---	---------

★ポイント

納付＝お金を支払う事です。

会社の現金が減ったので、貸方は現金となります。

相手科目には現金が減った理由を書けばよいので、中間申告＝**仮払法人税等 [資産]** とします。



法人税等勘定は正式な科目は「法人税、住民税及び事業税」です。
省略した時の「等」は忘れないように気をつけてくださいね。

Ⅲ法人税等が確定した時の仕訳

【例題 2】

CMC 株式会社は決算の結果、当期の法人税が 340,000 円と確定した。なお中間納付額 170,000 円は、仮払法人税等として処理している。

法人税等	340,000	仮払法人税等	170,000
		未払法人税等	170,000

★ポイント

法人税等は費用なので借方に書きます。

今回、法人税等は決算日に 340,000 円と確定されました。

その 340,000 円の内、すでに 170,000 円は中間申告時に納付しているため、残り 170,000 円をあとで納付します。

その残り 170,000 円を未払法人税等[負債]とします。

「未払」が付いた場合は、「あとで支払う義務」＝「負債」となります。

Ⅳ法人税等を納付した時の仕訳

【例題 3】

本日、CMC 株式会社は、未払法人税等 170,000 円を現金で納付した。

未払法人税等	170,000	現金	170,000
--------	---------	----	---------



本試験では色々なタイミングが問われるので、どこが問われているのかイメージできるように、取引の流れで押さえておこう。

Chapter03 手形の不渡りと更改

I 手形の不渡りとは

日商3級で習った**受取手形 [資産]**を思い出してみましょう。

手形には満期日があります。手形を受け取った人は満期日にお金が手に入ります。

何事もなければよいのですが、もし満期日に相手の当座預金に残高が残っていない場合を考えてみましょう。

満期日に手形代金の支払いがなされないことを「手形の不渡り」と呼んでいます。

不渡りの場合は、**受取手形 [資産]**から**不渡手形 [資産]**に振り替えるための仕訳が必要です。

【例題1】

東京商店から商品の代金として受け取っていた手形 400,000 円が不渡りとなり、同商店に償還請求をした。なお、償還請求に伴う諸費用は 2,000 円となり、現金で支払った。

不 渡 手 形	402,000	受 取 手 形	400,000
		現 金	2,000

★ポイント

・償還とは？広辞苑によると「返すこと。特に、債務を返済すること。」とあります。

よって償還請求は、「お金を返して。」と相手に求めることです。

なぜこのような仕訳が必要なのでしょう？

その理由は、通常の**受取手形 [資産]**と区別するためです。

また、**不渡手形**は**[資産]**です。



「不渡り」と聞くと**[負債]**のイメージかもしれないけど、手形代金を支払人(東京商店)に「払ってよ」と言える権利がありますね。手形としての価値はなくなっても、請求できる権利はあるので、**不渡手形**は立派な**[資産]**ですね。

II 手形の更改とは

手形の更改とは、手形の満期日までにお金が支払えない場合、事情を相手に伝え、相手の了承を得て支払期日を延長してもらうことをいいます。古い手形は相手から返してもらって、新しい手形を振り出します。

さきほどの手形の不渡りとの違いは？

簡単に言うと

不渡り・・・残高不足

更改・・・相手の了承を得ている

57：10 ごろに、板書のイメージ図の一部で「借」と書いていますが、正しくは「貸」です。申し訳ありません。

【例題 2】

CMC 株式会社は以前、約束手形 200,000 円を振り出し、玉野株式会社から 200,000 円を借り入れていたが、本日、支払期日の延期を申し込み、玉野株式会社の承諾を得たので、支払延期にともなう利息 2,500 円を加えた新しい約束手形 202,500 円を振り出し、旧手形と交換した。

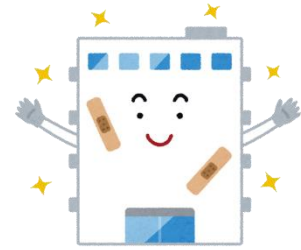
手形借入金	200,000	手形借入金	202,500
支払利息	2,500		

★ポイント

今回、借方の手形借入金 200,000 円は以前から保有していた古い手形借入金になります。

そして、貸方の手形借入金 202,500 円は、利息込みの新しい手形借入金です。この 2 種類の手形は、違う手形なので、借方と貸方が同じ勘定科目でも相殺は、できません。注意してください！！

Chapter04 修繕引当金



I 修繕引当金とは

企業が保有する建物や機械などは、時間が経つにつれ、老朽化したり、故障する可能性が高まってきます。その為、定期的に（年1回）修繕をしている。というケースを考えてみましょう。

当期も、定期修繕を行う予定でしたが、忙しかったため、修繕作業は次期に延期することになりました。この時、当期に行われるはずの修繕費用を決算時に見積ります。

なお、ここで使う勘定科目は**修繕引当金繰入 [費用]**と**修繕引当金 [負債]**の2つです。貸倒引当金の仕訳とパターンが似ていますね。最後に「繰入」とついたら費用になります。

II 決算時の仕訳

【例題 1】

今治株式会社は決算において、修繕引当金を設定する。当期の繰入額は 650,000 円である。

修繕引当金繰入	650,000	修繕引当金	650,000
---------	---------	-------	---------

★ポイント

なぜこのような仕訳をするのでしょうか。

本来は当期に行う修繕作業が、諸事情により次期にズレたのです。

そこで、【例題 1】のように当期に行われるはずの修繕費用を決算時に見積り、仕訳をします。

P/L や B/S などの財務諸表は、外部の利害関係者に報告するための資料です。修繕時に発生するであろう費用をあらかじめ見積りをして報告します。また、修繕引当金は負債ですので、B/S に計上されます。これを見た外部の利害関係者は…「近い将来、修繕を行った際、650,000 円はお金がかかるのだな・・・」ということがわかります。

では、実際に修繕費を支払ったときはどのような仕訳をするのでしょうか？確認してみましょう。

III 修繕時の仕訳

【例題 2】

今治株式会社は建物の定期修繕を行い、1,100,000 円は小切手を振り出して支払った。なお、修繕引当金の残高は 650,000 円である。

修繕引当金	650,000	当座預金	1,100,000
修繕費	450,000		

★ポイント

前期末に見積もった 650,000 円では、不足だったようですね。

650,000 円に関してはすでに前期末に**修繕引当金繰入 [費用]**という勘定科目で費用化処理をしていますが、足りない 450,000 円に関しては今回**修繕費 [費用]**で処理します。

Chapter05 剰余金の配当と処分

I 損益勘定からの振り替え

個人商店の場合は、決算で当期純利益が出たら、【例題 1】のように、損益勘定から**資本金**〔純資産〕に振り替えました。

【例題 1】

個人商店を営む瀬戸内海商店では、決算において 230,000 円の当期純利益を計上した。

損	益	230,000	資 本 金	230,000
---	---	---------	-------	---------

一方、株式会社の場合は当期純利益が出たら、**資本金**〔純資産〕ではなく、**繰越利益剰余金**〔純資産〕に振り替えます。株式会社の場合は、簡単に**資本金**〔純資産〕を増減できません(会社法という法律で規制されています)。

よって、**資本金**〔純資産〕ではなく**繰越利益剰余金**〔純資産〕に振り替えます。

【例題 2】

CMC株式会社は、決算において 530,000 円の当期純利益を計上した。必要な仕訳を行いなさい。

損	益	530,000	繰越利益剰余金	530,000
---	---	---------	---------	---------

★ポイント

覚え方として、利益が出た→【純資産】が増えるので貸方に**繰越利益剰余金**がくる。
では、反対に当期純損失が出たときはどのように仕訳するのでしょうか？

【例題 3】

CMC株式会社は、決算において、130,000 円の当期純損失を計上した。決算において必要な仕訳を行いなさい。

繰越利益剰余金	130,000	損	益	130,000
---------	---------	---	---	---------

損失が出た→【純資産】が減るから借方に繰越利益剰余金がくる。と覚えてください。



II 剰余金の配当と処分の処理

では、もう一度【例題 2】に戻ってください。

【例題 2】で 530,000 円の利益が出たので、**繰越利益剰余金 [純資産]**を増やしました。株式会社の場合、利益が出たのは、お金を出資してくれた株主たちのおかげでもあります。したがって、会社が獲得した利益は株主に還元されます。⇒株主配当金(3 ページを確認して下さい)では、配当等が決定した時はどのような仕訳が必要でしょうか。確認してみましょう。

【例題 4】

CMC 株式会社は当期の株主総会において、繰越利益剰余金の配当および処分を次のように決定した。
株主配当金 700,000 円 利益準備金 70,000 円 新築積立金 230,000 円

繰越利益剰余金	1,000,000	未払配当金	700,000
		利益準備金	70,000
		新築積立金	230,000

★ポイント

繰越利益剰余金 [純資産] が減るわけですから、借方にきます。貸方には減った理由を書きましょう。

利益準備金 [純資産] …会社法の規定で積み立てが強制されているものです。

株主に配当金を払うことが確定した場合、**利益準備金 [純資産]** を積み立てておかなくてはなりません。

〇〇積立金 [純資産] …強制ではなく、あくまでも「任意」です。

新築積立金…建物を新築する為の積立金

別途積立金…特別な使用目的のない積立金 など

これらの名前を覚えるのは大変だと思います。

どんな勘定科目を使うのかは、指示があります。無理に覚える必要はありません。

そのかわり、指定勘定科目は必ず確認してください。

III 配当の支払い

【例題 4】の仕訳で未払配当金が 700,000 円となっています。

配当金を支払った時の仕訳は以下の通りです。

【例題 5】

CMC 株式会社は【例題 4】で決定した配当金 700,000 円を、本日、当座預金口座から支払った。

未払配当金	700,000	当座預金	700,000
-------	---------	------	---------

Chapter06 建設仮勘定



I 建設仮勘定とは

工場やビルなどの建物の建設は、契約から完成まで時間がかかるため、建物が完成する前に工事代金の一部を前もって支払うことが基本です。

建設中に支払ったお金は**建設仮勘定 [資産]** という勘定科目で処理をします。

この**建設仮勘定 [資産]** は**前払金 [資産]** や**仮払金 [資産]** と同じ仲間です。

【例題 1】

このたび、工場を建設するため、建設会社との間で契約を結び、請負価格 5,000,000 円のうち、1,000,000 円を小切手を振り出して支払った。

建設仮勘定	1,000,000	当座預金	1,000,000
-------	-----------	------	-----------

II 工事が完成し、建物の引き渡しを受けた時

【例題 2】

【例題 1】の工事（請負金額 5,000,000 円、支払済み手付金 1,000,000 円）が完成し、当社は、引き渡しを受けた。残額 4,000,000 円は小切手を振り出して支払った。

建 物	5,000,000	建設仮勘定	1,000,000
		当座預金	4,000,000



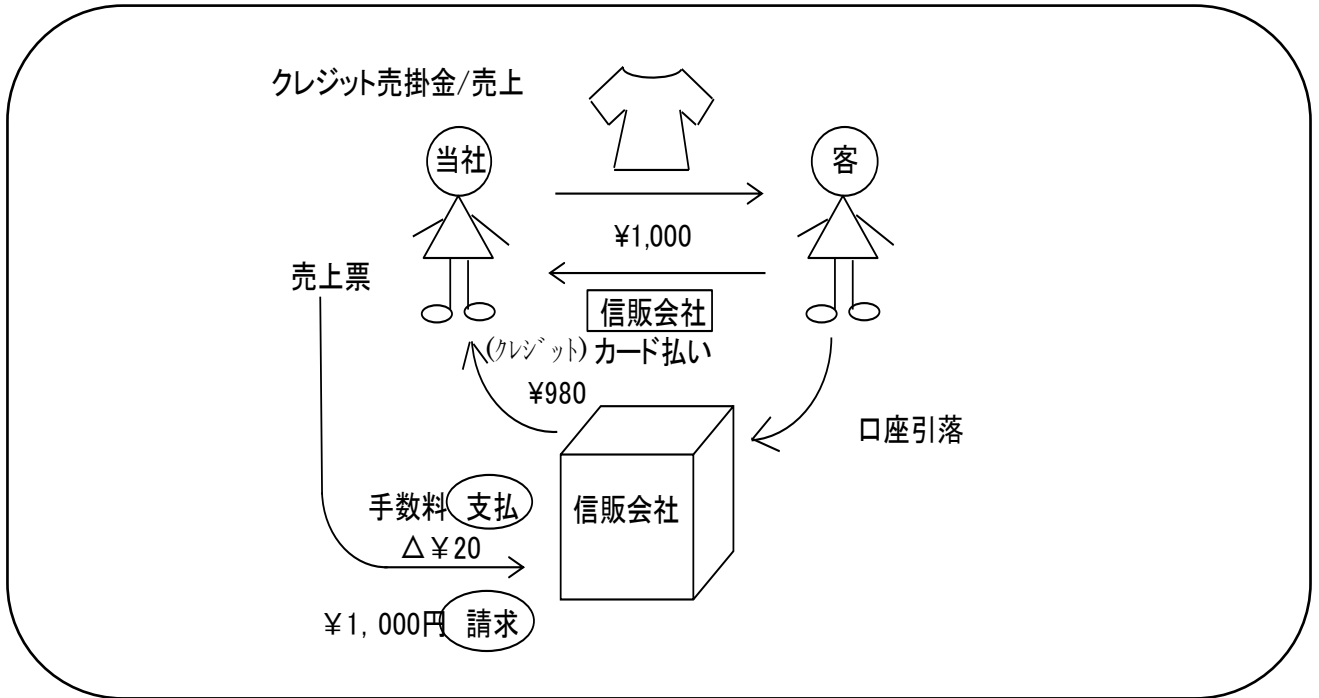
勉強は順調ですか？詰めすぎるとしんどくなるので、休憩もはさみながら、頑張りましょうね！

Chapter07 クレジット売掛金



I クレジット売掛金とは

商品を売り上げた時に、顧客が支払いをクレジットカードで行ったときは、あとで、信販会社から代金を受け取る権利が発生します。この権利を、**クレジット売掛金 [資産]** といいます。クレジットで販売した場合は、普通の**売掛金 [資産]**とは区別して、**クレジット売掛金**で処理をします。



◆手数料を計上するタイミング

支払いをクレジットカードで行われた場合は、当社は信販会社に売上金額を請求しますが、信販会社からは、売上金額から手数料を差し引かれた金額が当社に入金されます。この差し引かれた手数料は、**支払手数料 [費用]**で処理をします。

支払手数料を計上するタイミングは、下記の2つがあります。

- ① 商品を売り上げた時
- ② 信販会社からの売上代金が入金された時

II - ①商品を売り上げた時の仕訳

【例題 1】

当社は商品 200,000 円を売り上げて、顧客がクレジットカードにて支払った。なお、信販会社への手数料（販売代金の 5%）は、販売時に認識する。

クレジット売掛金	190,000	売	上	200,000
支払手数料	10,000			

【例題 2】

【例題 1】に関して、信販会社より手数料を差し引かれた残額が当座預金口座へ入金された。

当 座 預 金	190,000	クレジット売掛金	190,000
---------	---------	----------	---------

II-②売上代金が入金された時の仕訳

【例題 3】

当社は商品 200,000 円を売り上げて、顧客はクレジットカードにて支払った。なお、信販会社への手数料（販売代金の 5%）は、入金時に認識する。

クレジット売掛金	200,000	売 上	200,000
----------	---------	-----	---------

【例題 4】

【例題 3】に関して、信販会社より手数料を差し引かれた残額が当座預金口座へ入金された。

当 座 預 金	190,000	クレジット売掛金	200,000
支払手数料	10,000		

★ポイント

・手数料計上のタイミングは、問題文に記載されています(「手数料は、販売(売上)時に認識する。」又は、「手数料は、入金時に認識する。」など)。試験当日も、問題文を必ず確認するようにしてください。



実務では、会計ソフトを利用します。

会計ソフトでは、クレジット会社別の売掛金は、補助科目(枝番)で管理することが多いです。

実務の勉強をしたい方へのおすすめは、弥生カレッジ CMC より販売している、「弥生検定(パソコン経理事務)中級」12,800 円です。



Chapter08 外貨預金



I 外貨預金とは

銀行に外貨(ドルやユーロや元など)で預金することを**外貨預金** [資産] と言います。

—

II 外貨預金の処理について

預け入れ時

外貨預金へ預け入れをする時は、円建ての入金額 (=外貨預金額×為替レート) で、仕訳をします。
(仕訳は円で行います。)

決算時

決算時の為替レートで換算替えを行い、換算差額は、**為替差損** [費用]・**為替差益** [収益] として仕訳をします。

【例題 1】 預け入れた時

普通預金口座から 2,000 ドルを**外貨預金**口座に振り替えた。なお、預け入れ時の為替レートは 1 ドル 100 円であった。

外 貨 預 金	200,000	普 通 預 金	200,000
---------	---------	---------	---------

@100 円×2,000 ドル=200,000 円 預け入れ

【例題 2】 決算時①

決算にあたり【例題 1】の**外貨預金**について、換算を行った。(帳簿価額 200,000 円)
なお、決算時の為替レートは 1 ドル 105 円であった。

外 貨 預 金	10,000	為 替 差 益	10,000
---------	--------	---------	--------

(105 円—100 円) ×2,000 ドル=10,000 円⇒儲かった！

【例題 3】 決算時②

決算にあたり【例題 1】の**外貨預金**について、換算を行った。(帳簿価額 200,000 円)
なお、決算時の為替レートは 1 ドル 99 円であった。

為 替 差 損	2,000	外 貨 預 金	2,000
---------	-------	---------	-------

(99 円—100 円) ×2,000 ドル=△2,000 円⇒損した！！

★**ポイント** それぞれの処理・取引を行った時点での為替レートで換算します。

Chapter09 電子記録債権・債務

I 電子記録債権・債務とは

手形に代わる新しい金銭債権〔資産〕、金銭債務〔負債〕で、電子債権記録機関が管理する記録簿(登記簿のようなもの)に必要な事項を登録することによって権利が発生します。

II 電子記録債権・債務の処理（発生）

①債務者側（買掛金がある側）が発生記録の請求を行うことによって、債権者側（売掛金がある側）に**電子記録債権〔資産〕**が発生します。一方、債務者側には**電子記録債務〔負債〕**が発生します。

②債権者側（売掛金がある側）が発生記録の請求を行うこともあるが、この場合には債務者側の承諾が必要です。

【例題 1】

明石株式会社から商品 100,000 円を仕入れ、代金は掛とした。その後、当該仕入れ代金につき発生記録の請求を行い、**電子記録債務〔負債〕**が発生した。

<仕入れ時の仕訳>

仕	入	100,000	買	掛	金	100,000
---	---	---------	---	---	---	---------

<電子記録債務発生時の仕訳>

買	掛	金	100,000	電子記録債務	100,000
---	---	---	---------	--------	---------

【例題 2】

本日【例題 1】の**電子記録債務〔負債〕**が、当社の**当座預金〔資産〕**口座より引き落とされた。

電子記録債務	100,000	当	座	預	金	100,000
--------	---------	---	---	---	---	---------

【例題 3】

明石株式会社は、CMC 株式会社に商品を 100,000 円で売り上げ、代金は掛とした。その後当該売り上げ代金につき発生記録の請求を行い、CMC 商店の承諾を得て**電子記録債権 [資産]**が発生した。

<売り上げ時の仕訳>

売 掛 金	100,000	売 上	100,000
-------	---------	-----	---------

<電子記録債権発生時の仕訳>

電 子 記 録 債 権	100,000	売 掛 金	100,000
-------------	---------	-------	---------

【例題 4】

【例題 3】の**電子記録債権 [資産]**が、明石株式会社の**当座預金 [資産]**口座に入金された。

当 座 預 金	100,000	電 子 記 録 債 権	100,000
---------	---------	-------------	---------

★ポイント

・商品売買取引は、まず、掛け取引（**売掛金 [資産]**・**買掛金 [負債]**）で仕訳をして、その後、**電子記録債権 [資産]**・**債務 [負債]**に振り替えます。

Chapter10 本支店会計

I 本支店会計とは

企業が大きくなると、本店のほか全国に支店を設けるようになります。これまでは、それほど企業規模が大きくなかったため、本店のみに仕訳帳や総勘定元帳がありました。しかし、全国に支店ができると、支店にも帳簿を持たせた方がよさそうです。(なにからなにまで本店の経理さんに仕訳を任せるのは辛い・・・) このように、本店と支店に帳簿がある場合の会計処理を「本支店会計」と呼んでいます。

本支店会計では、処理の仕方が以下の2つがあります。

①本店集中会計制度

本店のみに帳簿があり、支店で起こった取引も本店の帳簿に記入をする方法です。

②支店独立会計制度

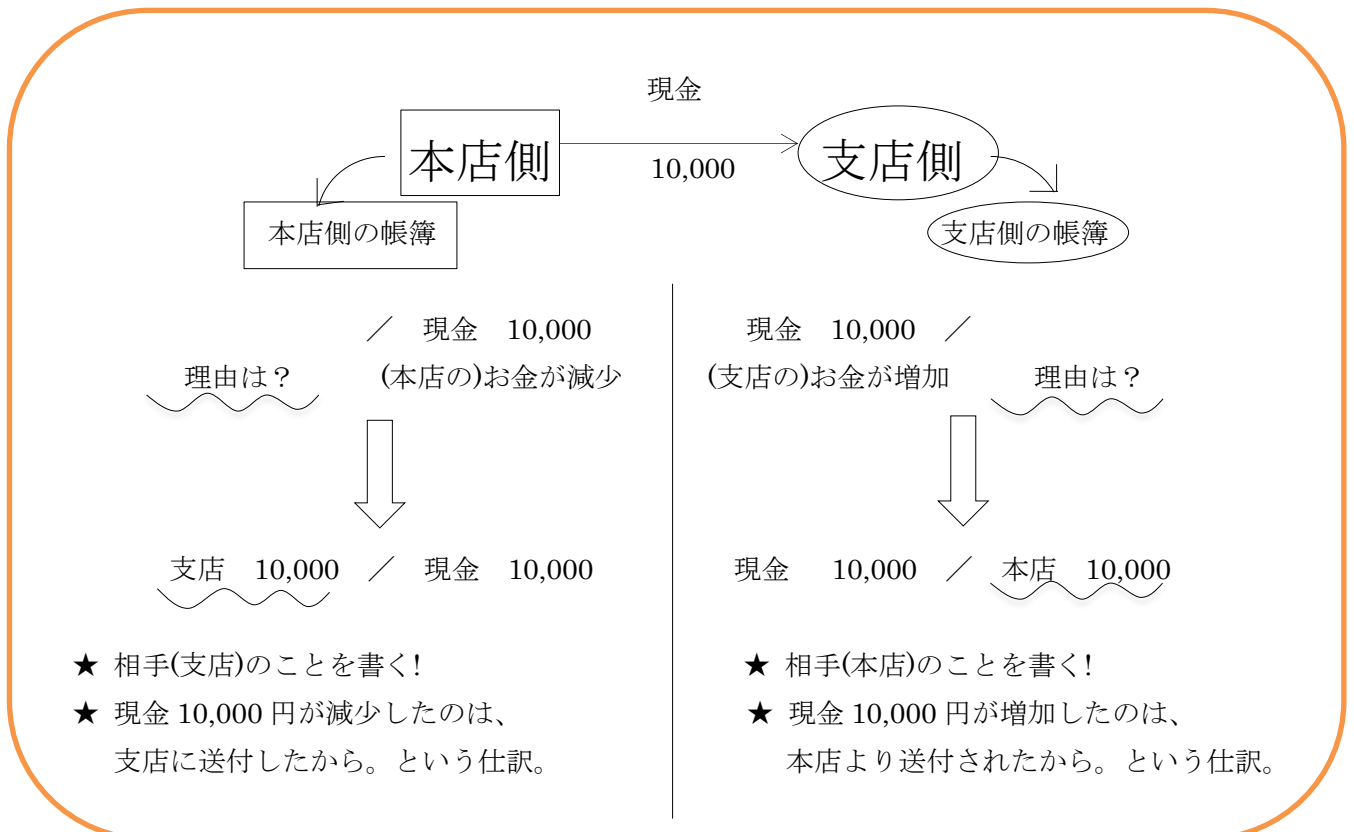
本店と支店の両方に帳簿があり、支店で起こった取引は支店の帳簿に記入する方法です。

なお、試験では、②支店独立会計制度がよく出題されています(業績を明らかにするためには適している)。そのため、本書では支店独立会計制度を前提で説明していきます。

それでは具体例を見ていきましょう。

【例題 1】

本店は、京橋支店に現金 10,000 円を送付した。



本支店会計では、本店側では**支店勘定**を、支店側では**本店勘定**を用いて処理をします。
これは、だれの間から見ても、内部取引だと理解してもらうためです。
それでは、他の取引例も見てみましょう。

【例題 2】

京橋支店は、本店の買掛金 10,000 円を現金で払った。京橋支店側の仕訳を下さい。

本店側	支店側
買掛金 10,000 / 支店 10,000	本店 10,000 / 現金 10,000
(本店の)	(支店の)
★ 買掛金が減少したのは、 支店が代わりに支払ってくれたから。 という仕訳。	★ 現金が減少したのは、 本店の(買掛金を)代わりに支払ったから。 という仕訳。

【例題 3】

本店は、商品 30,000 円を支店へ送付し、京橋支店はこの商品を受け取った。本店側の仕訳を下さい。

本店側	支店側
支店 30,000 / 仕入 30,000	仕入 30,000 / 本店 30,000
(本店の)	(支店の)
★ 仕入が減少したのは、 支店に送付したから。 という仕訳。	★ 仕入が増加したのは、 本店より商品を受け取ったから。 という仕訳。

II 支店の損益振り替え処理

支店側の決算において、最終的に支店の**損益**勘定で算定した当期純利益（当期純損失）は、**本店**に振り替える処理をします。

【例題 5】

CMC 株式会社の支店は、当期の決算において、当期純利益 480,000 円を計上した。支店の行う仕訳を
しなさい。なお、支店独立会計制度を採用している。

損	益	480,000	本	店	480,000
---	---	---------	---	---	---------

(支店側に、**繰越利益剰余金**は存在しません。)

Chapter11 その他の論点

I 仕入・売上げ割戻

◆割戻しとは？

商売をしていると、一定期間に取引先が、大量に商品を仕入れてくれた時に、代金の一部を還元する。ということがあります。これを割戻し(リベート)と言います。

割戻しの処理方法は、日商3級で学習した、「返品・値引き」と同じ処理です。

仕入・売上を取り消す処理をします。

仕入割戻しを受けた時の仕訳

【例題1】

CMC株式会社は、香川商事株式会社から商品を掛けで仕入れている。仕入先からは、1ヶ月間の仕入額が1,500,000円を超えた時には、仕入額に対して2%の仕入割戻しを受けることになっている。本日(12月20日)、支払日にあたり11月の仕入額1,570,000円から仕入割戻しを差し引いて、普通預金にて支払った。

買掛金	1,570,000	仕入	31,400
		普通預金	1,538,600

$1,570,000 \text{円} \times 2\% = 31,400$

売上割戻しをした時の仕訳

【例題2】

香川商事株式会社はCMC株式会社に商品を掛けで販売している。得意先には、1ヶ月間の販売額が1,500,000円を超えた時には、販売額に対して2%の売上割戻しを適用することになっている。本日(12月20日)、入金日にあたり11月の販売額1,570,000円から売上割戻しを差し引いた残額が、普通預金に入金された。

普通預金	1,538,600	売掛金	1,570,000
売上	31,400		

$1,570,000 \text{円} \times 2\% = 31,400$

I 商品保証引当金

◆商品保証引当金とは？

顧客に商品を販売後、企業は一定期間内であれば無料で修理を行うといった保証をつけることがあります。この場合、当期中に販売した商品の修理を次期以降に行う可能性はおおいにあります。当期に販売した商品にかかる修理費用は当期の費用です。そこで、決算において、当期に販売した商品に対して、次期以降に発生するであろう修理費用を見積もり、**商品保証引当金繰入[費用]**として処理します。

貸方は、**商品保証引当金[負債]**で処理をします。(貸倒引当金や修繕引当金の時と考え方は同じです。)

決算時の仕訳

【例題 1】

決算において、商品保証引当金を設定する。当期の繰入額は 25,000 円とする。

商品保証引当金繰入	25,000	商品保証引当金	25,000
-----------	--------	---------	--------

修理を行った時の仕訳(前期販売→当期修理)

【例題 2】

当社は、前期に販売していた保証付きの商品について顧客より修理の申し出があり、期間内につき無料で修理を行った。今回の修理にかかった費用は 19,000 円で、現金にて支払った。なお、商品の修理にかかわる引当金の残高は 25,000 円である。

商品保証引当金	19,000	現	金	19,000
---------	--------	---	---	--------